

## 内航船舶輸送統計母集団調査票 調査票記入の手引き

この調査は、統計法に基づく一般統計であり、本調査結果は、内航船舶輸送統計（基幹統計）の円滑な実施とさらなる精度向上に向けた改訂のための資料として使用されます。この調査票により申告された事項は、統計法第41条により守秘義務が課されており、秘密の保護には万全を期しています。また、統計法第40条により調査票の情報を統計調査の目的以外の目的のために利用又は提供することはありません。

### ■ 調査対象について

- 内航海運業法第3条に基づき内航運送をする事業について国土交通大臣に登録又は届出をした者が輸送した貨物のうち、**総トン数20トン以上**の船舶によって輸送された貨物を対象としています。

ただし、**次の①～④については、調査の対象ではありませんので、調査票の(1)のみ記入し、ご返送ください。**

- ①同一港内における輸送のみ、両端又は一方が港湾でない区間の輸送のみ（海上より採取するもの又は海上へ投棄（埋立て等）するものの輸送）、船舶品等の船舶への輸送（船舶への給油等）のみ、あるいは河川又は湖沼のみの輸送しかしていない。

ただし、京浜港については、東京港・横浜港・川崎港、大阪港については、大阪港・堺港、関門港については、下関港区・門司港区・小倉港区・洞海港区の各港相互間の輸送は調査の対象とします。

- ②船舶の貸渡しをする事業のみ。

- ③上記①、②には該当しないが、令和5年10月現在、事業を休止している。

- ④すでに廃業している。

### ■ 調査票の記入について

- 1枚に書ききれない場合は、調査票を複写して追記して下さい。（運航船舶が多いなど、1枚に書ききれないことが予想される場合は、あらかじめ複写をお取り下さい。）
- 表面には貴社で所有の全ての船舶について、各船舶の10月（令和5年10月1日から10月31日まで）の輸送実績（月間の燃料消費量、月間の航海距離、月間の輸送量等）について記入して下さい。
- 表面の（2）は①～④の中から貴社の事業継続状況に最も近いものをお選び下さい。
- 具体的な記入方法に関しては、次ページの図を参照して下さい。
- 貴社の住所、貴社名称等はあらかじめプリントしております。誤り、変更がある場合はお手数ですが訂正して下さい。

### ■ 提出期日について

- ご記入頂いた調査票は、令和5年11月30日（木）までに同封した返信用封筒にて郵送していただくか、Excel形式またはPDF形式にて下記の電子メールアドレス宛に提出して下さい。

Excel形式の調査票は下記ホームページより入手できます。

提出先メールアドレス：202310naiko-bosyudan@surece.co.jp

ホームページアドレス：<https://www.mlit.go.jp/k-toukei/nakousennpakubosyuudanntyousa.html>

### ■ 調査に関する問い合わせ先

国土交通省 総合政策局情報政策課 交通経済統計調査室 内航船舶輸送統計母集団調査問い合わせ窓口

電話：0120-227-244（フリーコール） 受付時間：土日祝日を除く9:00～17:00



・記入不要です。

国土交通省

### 内航船舶輸送統計母集団調査票

報告者の住所及び氏名又は名称
記入者の部署及び氏名、連絡先

(記入内容の確認のため、記入者にお問い合わせさせていただく場合があります。)

事業者番号
※整理番号

※整理番号は記入不要です

(1) 貴社の内航輸送の事業状況について、該当する項目がありましたら、左欄に「○」をご記入ください。

※下記①～④のいずれかに該当する場合、(2)以降の回答は不要です。

- 船名
  - ・船舶検査証書に記載されている船名を記入して下さい。
  - ・なお、台船等の場合は、通称名でも構いません。
- 船舶番号
  - ・船舶検査証に記載されている船舶番号を記入して下さい。
  - ・なお、押船又は曳船の船舶番号を記入して下さい。
  - ・台船等で船舶番号が不明の場合は、空欄で構いません。

ない区間の輸送のみ、船舶品等の船舶への輸送(船舶への給油等)のみ、あるいは河川又は湖沼のみの輸送しかしていない。

現在、事業を休止している。

て、該当する項目の左欄に「○」をご記入ください。お答えください。

回答は不要です。

業を継続予定である。

き、内航海運業を継続しない予定である(事業廃止、休止等)。ないが、内航海運業を継続中である。

- 月間燃料消費量
  - ・令和5年10月1日～10月31日までに消費した船舶の燃料を、船舶ごとに油種別で記入して下さい。
  - ・A重油とC重油の区分が可能な場合はそれぞれの欄に数量を分けて記入して下さい。区分ができない場合は、合計の数量をB重油の欄に記入して下さい。
  - ・重油以外の燃料を使用している場合は、その他の油種等の油種等名に使用している燃料(例:軽油、LNG等)を、下段に単位を記入してください。

- 品名
  - ・詳細な名称が不明な場合は大まかな分類で記入して下さい。

例) 燃料、金属等

(3) 貴社で所有している全ての内航運送用の船舶について、令和5年10月(10月1日～10月31日まで)の輸送実績をお答えください。

(船舶の用途)

1. 自動車専用船 2. セメント専用船 3. 石灰石専用船 4. 石炭専用船 5. コンテナ専用船 6. RORO船 7. その他の貨物船 8. 油送船 9. プッシャーバージ又は台船

①船名 ②船舶番号	③総トン数 (単位:トン)	④載貨重量トン数 (単位:トン)	⑤用途	⑥月間燃料消費量				⑦月間航海距離 (単位:カイリ)	⑧品名	⑨月間総輸送量	
				A重油	B重油	C重油	その他の油種等			⑨-1 輸送量	⑨-2 単位
船舶登記簿に記載されている船名及び船舶番号を記入	船舶登記簿に記載されている総トン数を記入	当該船舶の載貨重量トン数を記入	上記「船舶の用途」より、番号を選択して記入	当該船舶が10月に消費した燃料の消費量を記入。「その他の油種等」の場合は左欄( )内に油種等名、下段に単位、右欄に燃料消費量を記入。燃料消費量が不明の場合は「不明」と記入				当該船舶の航海距離を記入。不明の場合は「不明」と記入	当該船舶が10月に輸送した輸送品目を全て記入。不明な品目は「不明」と記入	左記品目の輸送量を記入。不明な品目は「不明」と記入	左記品目の輸送量の単位を○で囲む。その他の単位の場合は、( )内にその単位を記入
■総トン数・載貨重量トン数 ・1トン未満の端数は切り捨てして下さい。 ・押船又は曳船と台船が一体になっている船舶については、両船の総トン数・載貨重量トン数の合計値をそれぞれ記入して下さい。押船又は曳船の台船が一定でない場合は、使用する台船のうち、最も大きい台船の数値を採用して下さい。				■月間航海距離 ・令和5年10月1日～10月31日までの延べ航海距離を船舶ごとに記入して下さい。 ・空船(空荷)時の距離も含めて記入して下さい。				■月間総輸送量及び単位 ・船舶ごとに令和5年10月1日～10月31日までに運んだ貨物の総量を品目別に記入して下さい。 ・トン又はキログラムでの輸送量を記入して、どちらか該当する単位を○で囲んで下さい。 ・トン又はキログラムで記入できない場合は、「その他」を○で囲み、必ず( )内に単位を記入して下さい。			
■用途 ・用途は、1～9から該当する番号を記入して下さい。 ・貨物フェリーは、「6」を記入して下さい。 ・特殊タンク船は、「8」を記入して下さい。 なお、特殊タンク船とはパーセルタンカー、アスファルトタンカー等を指します。				油種等名 同一の船舶で運ばれた貨物は、続けて記入して下さい。また、一つの船舶で運んだ貨物が4品目を超える場合でもそのまま続けて記入して下さい。				トン・キログラム・その他 ( ) トン・キログラム・その他 ( ) トン・キログラム・その他 ( ) トン・キログラム・その他 ( )			